

仲間と学ぶ宿泊体験教室推進校 仁連小学校

1 取組の概要及び成果等

(1) 取組の概要

①ボランティアなど社会奉仕に関わる体験活動

- ・さしま少年自然の家での清掃活動

②自然に関わる体験活動

- ・テント宿泊
- ・ドラム缶風呂
- ・日光，赤沼ハイキング
- ・温泉入浴

③勤労生産に関わる体験活動

- ・うどん打ち体験
- ・野外炊飯活動

④職業・就業に関わる体験活動

- ・日産自動車工場見学
- ・手びねり体験（笠間焼）

⑤文化や芸術に係る体験活動

- ・世界遺産である「日光東照宮」の見学

(2) 特に工夫や配慮した事項

<ねらい>

- ・宿泊を伴う共同宿泊学習生活を通して友達や先生方とふれあいを深め、お互いのよさを発見し、今後の学校生活に生かす。
- ・グループで自然体験をしたり世界文化遺産を見学したりすることを通して、自分たちで「学ぶ力」を身につける。
- ・集団行動のきまりをよく守り、全体の中の一人であることを自覚して行動し、自分の責任を果たす。また、働くことの大切さを知る。

<工夫点・配慮事項>

- ・本物にふれる機会を大切にし、体験を深めるために「日光東照宮」を見学させ、「手びねり体験」では専門の方による案内や指導を受けるようにした。
- ・大自然のすばらしさや協力し合うことの大切さを学び、体験させたいと考え、野外炊飯、ドラム缶風呂、テント宿泊など自然体験をたくさん取り入れた。楽しくスムーズに活動できるよう友人関係などを十分に考慮したグループ作りを行った。
- ・安全健康面に十分留意し、毎日定期的な健康観察、夜間の見回りを実施した。

(3) 成果等

- ・宿泊を伴う共同生活を通して、友達同士や教師とのふれあいを深め、互いのよさを発見す

ることができた。また、集団生活のルールや互いを思いやって行動することの大切さを実感できた。

- ・日頃経験できない「自然体験」や「文化的体験」を通して、協力し合うことや自分たちで「学ぶ力」を身につけることができた。

2 学校の推進体制と学校支援委員会の活動体

(1) 学校の推進体制と学校支援委員会の活動の概要

- ① 教育課程上に体験活動を適切に位置づけ、学校全体で取り組む体制を作り、教職員が一体となって取り組む。
- ② 学校支援委員には、計画に対して助言等をしていただく。

(2) 成果等

- ① 見学場所等決めるのが大変であったが、委員からアドバイスを受け決めることができた。
- ② 宿泊中に問題が生じた場合すぐ対応していただくことができる。

3 今後の課題と改善点

- 長期宿泊学習なので、応援をいただく職員の数を、できるだけ多く確保したい。
- 職員の役割分担をしっかりとしていきたい。
- 特に暑い時期なので、児童・引率職員の健康管理をしっかりと行いたい。
- 無理のない余裕をもった活動を計画したい。